

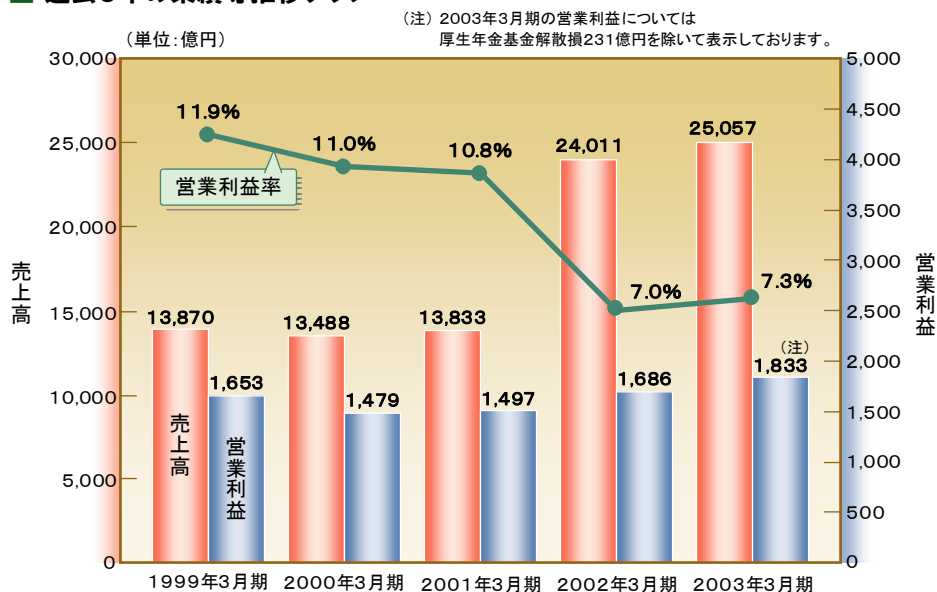
中期経営計画 VISION75 ～ 新たなる出発 ～

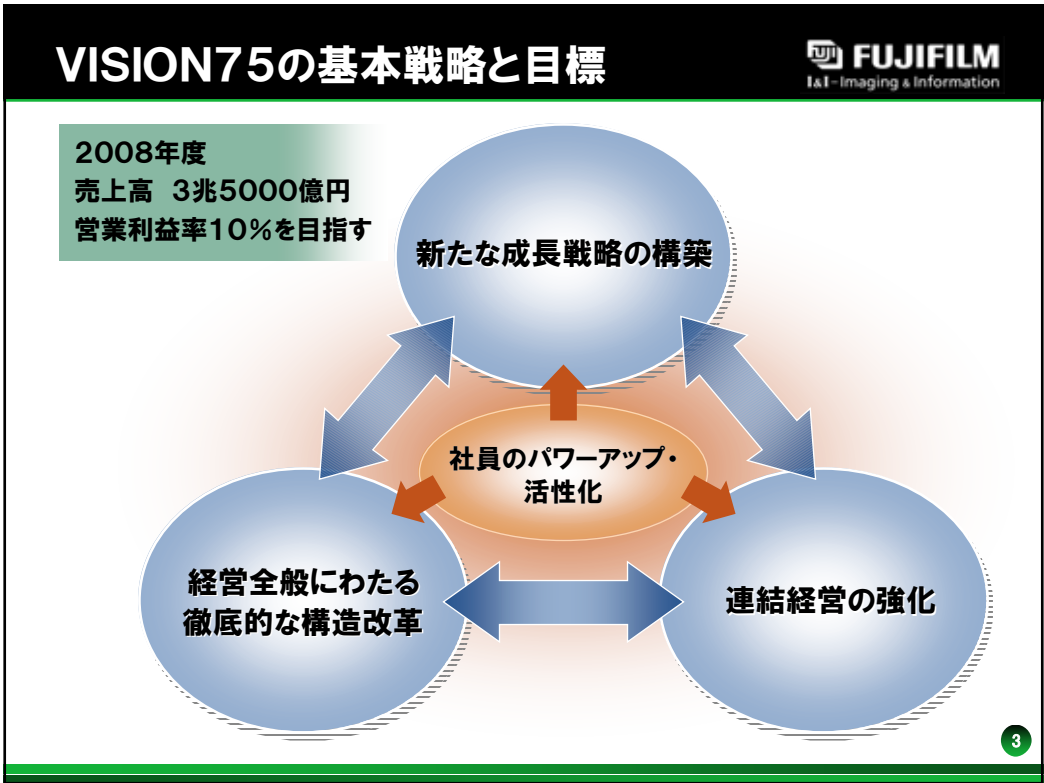
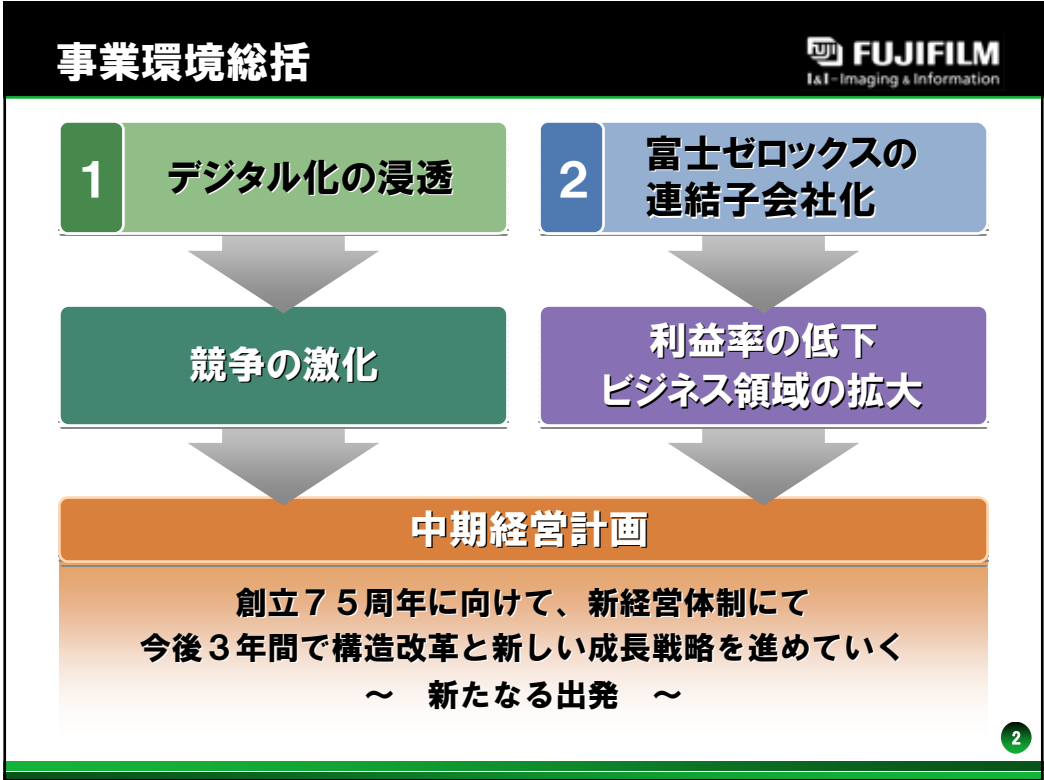
平成16年2月5日

富士写真フイルム株式会社

業績推移

■ 過去5年の業績等推移グラフ





新たな成長戦略の構築

- 経営資源の集中により成長事業を拡大
- 一般写真材料のサステイン・写真文化を守る
- 将来を担う新規事業創出
- 中国における事業展開の拡大

電子映像事業

- 富士フィルムグループが有する独自技術を更に強化して差別化商品を開発
 - ・ キーデバイス技術(スーパーCCDハニカム、FUJINONレンズ)
 - ・ 高画質形成技術(Image Intelligence™)
 - ・ 高密度実装・組み立て技術

デジタルカメラ

ワールドワイドでのシェアトップ3以内の確保

販売目標

2003年度見通し	2006年度
620~630万台	1,300万台

- CCD増産対応
東北セミコンダクタの汎用ウエハー製造工場買収
- 研究開発体制の大幅強化(約180名増)
- 中国(2006年度:約500万台/年)を含む生産体制の強化
- 販売体制の強化(富士フィルムアクシア・富士フィルムバッテリー・富士フィルム営業部門の統合)

光学電子部品事業

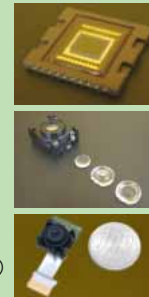
2006年度で売上高500億円超のビジネスに拡大

- CCD、レンズ、高密度実装技術を結集

新規供給先拡大による携帯電話向ビジネスの拡大

- カメラモジュール
- レンズユニット

- 他事業領域への供給拡大(セキュリティ分野・車載分野等)



フラットパネルディスプレイ材料(FPD)事業

- 液晶モニターの成長・大型化
- 液晶TVの普及・拡大



- 需要の飛躍的拡大
- ニーズの多様化

液晶モードを中核にあらゆるFPDに対応した部材供給体制の確立を目指す

● 売上高



● 四つの柱

フジタック

ワイドビューフィルム

反射防止(CV)フィルム

トランサー

● 研究開発体制の強化

- ・ FPD材料事業部及び研究所の設立(2003.12)

● 設備投資の拡大

(2004~2007累計:約1,100億円)

6

ドキュメントソリューション事業

新規成長事業の育成と既存事業の選択と集中

- オフィスサービス事業 : オフィス市場におけるドキュメント作成業務の一括代行サービス化の推進など
- プロダクションサービス事業 : デジタル印刷市場にてプリント・オン・デマンドによる高付加価値サービスの提供
- プリンター事業 : カラーレーザープリンターを核としたグローバル成長
- 複写機事業 : カラー化/複合機化による収益基盤の堅持

営業体制の再編・強化

- 中国販売チャネルの拡大
- 国内販社体制の再編
- ビジネスソリューション営業力強化

体質強化と営業利益率の改善

..... 構造改革の頁にて詳述

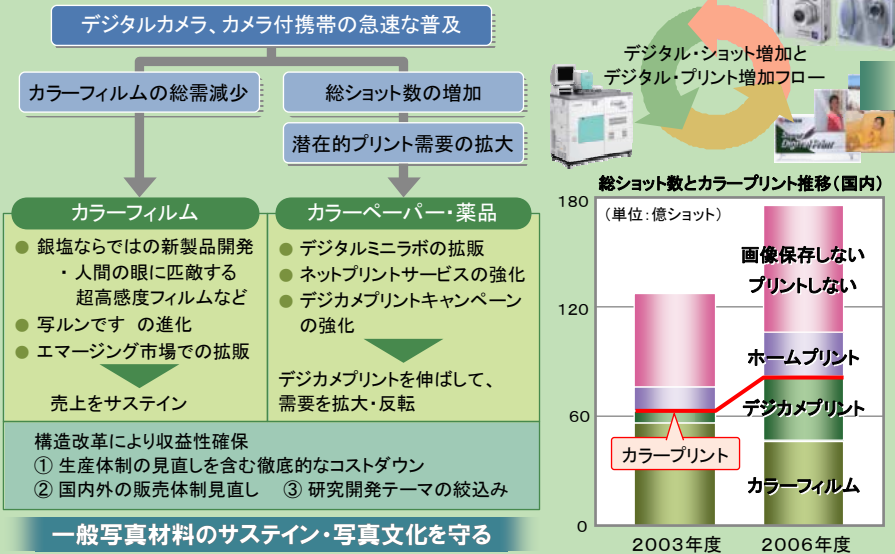
7

新たな成長戦略の構築

- 経営資源の集中により成長事業を拡大
- 一般写真材料のサステイン・写真文化を守る
- 将来を担う新規事業創出
- 中国における事業展開の拡大

一般写真材料のサステイン・写真文化を守る

カラーフィルム(「写ルンです」含む)・カラーペーパー

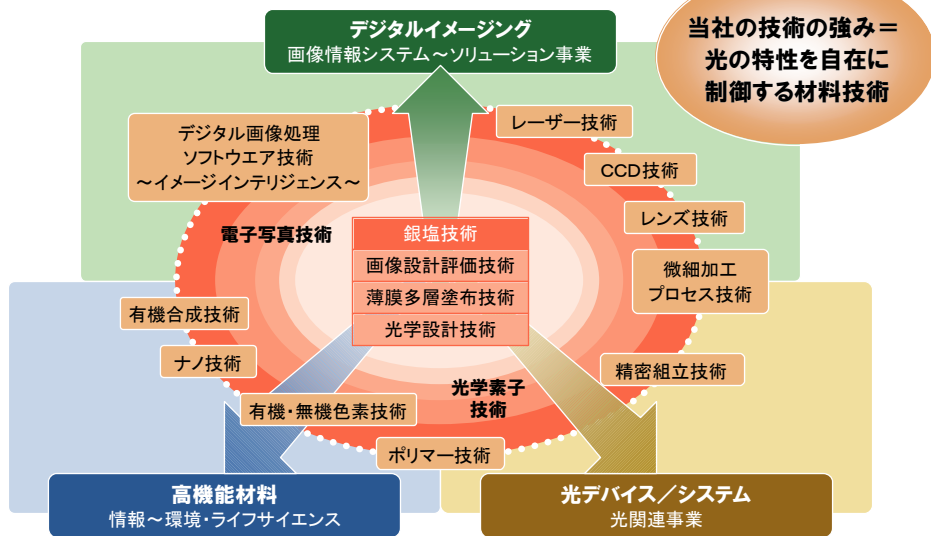


新たな成長戦略の構築

- 経営資源の集中により成長事業を拡大
- 一般写真材料のサステイン・写真文化を守る
- 将来を担う新規事業創出
- 中国における事業展開の拡大

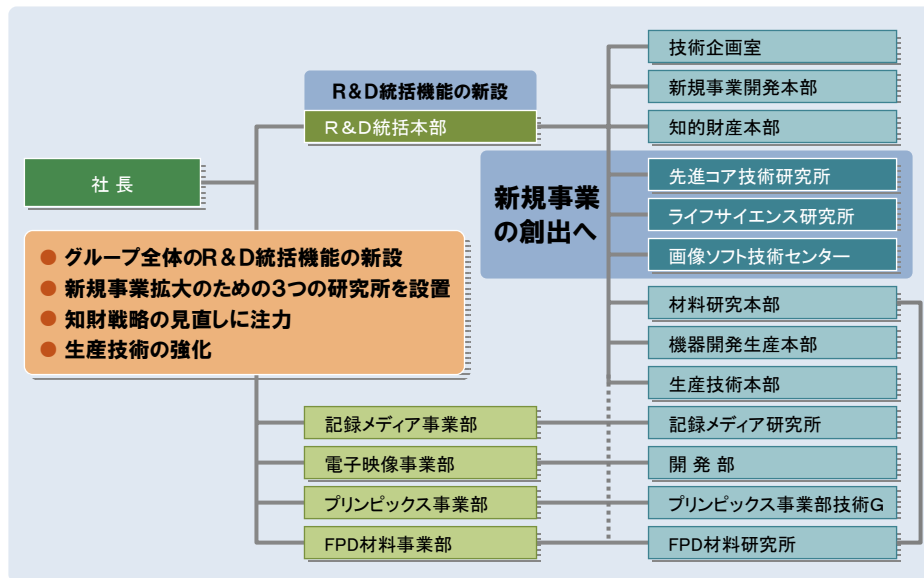
将来を担う新規事業創出

1. 新規技術・新規事業の方向性



将来を担う新規事業創出

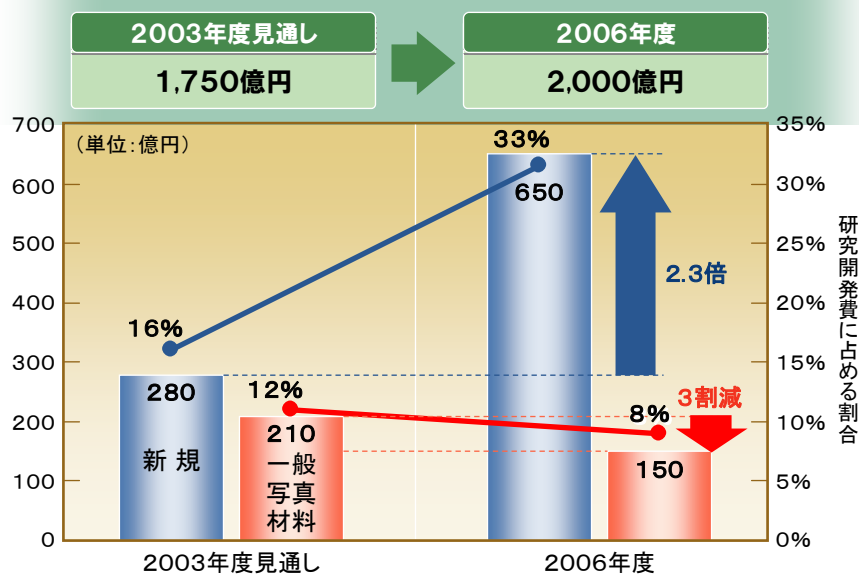
2. 研究開発体制の再構築



12

将来を担う新規事業創出

3. 研究開発投資の内訳の見直し



13

新たな成長戦略の構築

- 経営資源の集中により成長事業を拡大
- 一般写真事業のサステイン・写真文化を守る
- 将来を担う新規事業創出
- 中国における事業展開の拡大

中国における事業展開の拡大

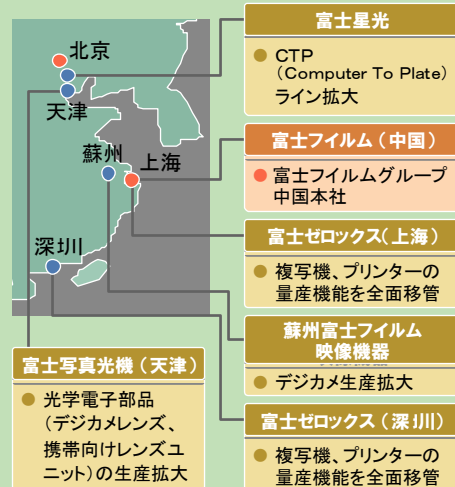
デジタルイメージング分野での
トータルソリューションの提供により
「FUJIFILMブランド」のトップシェアを
目指す

デジタルカメラ、一般写真用材料、
ドキュメント、印刷システム、医療画像、
光学電子部品にフォーカスした事業展開

- 中国本社機能の強化、販売体制の充実
- 生産拠点の整備・拡大

生産拠点の整備・拡大

今後整備 ・ デジタル関連の機器・材料等



経営全般にわたる徹底的な構造改革

- 生産、販売/流通、購買の体制再編、効率化の推進
- 富士ゼロックスの体質強化

構造改革の推進

構造改革による2006年度のコストダウン目標 約2,000億円(対 2003年度比)

生産、販売/流通、購買の体制再編、効率化(富士ゼロックス除く)

- **生産体制の再編** ⇒ 2006年度コストダウン約200億円
 - ・ ワールドワイドでの塗布機・製膜機の再編成
 - ・ 連結ベース(富士ゼロックス除く)での機器生産体制の再構築
- **国内販売体制の改革** ⇒ 2006年度コストダウン約200億円
 - ・ 富士フイルム本社…事業企画・商品企画機能に特化
 - ・ 販社/総合ラボ …販売/流通機能の効率化を目指して再構築
- **購買戦略の改革** ⇒ 2006年度コストダウン約250億円
 - ① 購買プロセスの見直し・最適化
 - ② 国内グループ会社トータルで購買調達機能を効率化
 - ③ グローバル購買・調達体制の構築

富士ゼロックスの体質強化

ドキュメントソリューション営業利益率の改善



- **生産総コスト低減** : 中国量産拠点シフト、調達コスト改革
⇒ 2006年度コストダウン 約450億円
- **保守サービスコスト低減** : サービス体制再編、信頼性向上
⇒ 2006年度コストダウン 約100億円
- **総人件費抑制** : 年金・退職金改革、人事制度改革、直間比率の改善
⇒ 2006年度コストダウン 約120億円
- **その他の構造改革による経費削減** : 組織構造改革(スリム化、フラット化)、開発効率アップ
⇒ 2006年度コストダウン 約300億円

総人件費抑制とその他構造改革により2006年度で売上高経費率6.5ポイントの改善を目指す

18

VISION75 連結経営の強化

- **連結経営管理の強化**

- ・ 新経営指標(EVA[®])の導入
- ・ 連結経営管理をサポートするITインフラの整備

- **コンプライアンス・リスクマネージメントの一体的な強化・推進を中心とする適切な内部統制体制の強化**

- **環境経営の更なる強化**

VISION75

数値目標

業績目標

(金額単位:億円)

	2003年度 見通し		2006年度 計画	2008年度 目標
売上高	25,800	➔	31,000	35,000
営業利益	1,800		2,700	3,500
営業利益率	7.0%		8.7%	10.0%
純利益	800		1,500	1,800
純利益率	3.1%		4.8%	5.1%

ご参考

(金額単位:億円)

	2004~2006 年度累計
設備投資	5,500

22

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。